



国立療養所 松丘保養園



ご挨拶



園長

横山 慎

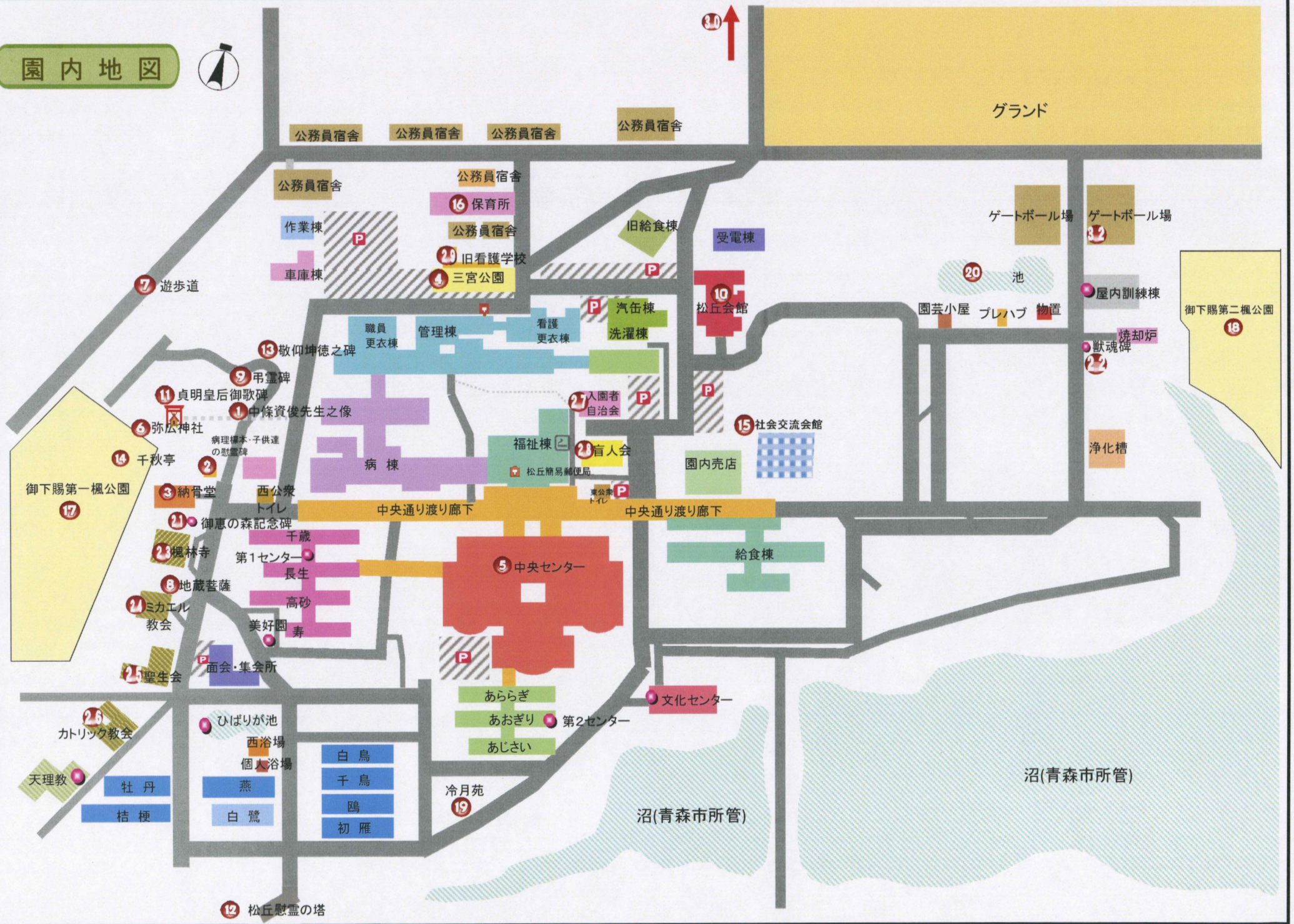
国立松丘保養園をご訪問いただきありがとうございます。松丘保養園は全国に13カ所ある国立ハンセン病療養所の一つで2019年に設立110周年を迎えました。1909年(明治42年)4月1日に東北6県及び北海道の連合立として青森市油川に北部保養院の名称で設立されましたが同年10月1日には現在の青森市新城に移転しております。1941年(昭和16年)には厚生(労働)省に移管、国立療養所松丘保養園と改称され、我が国最北端の国立ハンセン病療養所として、設立以来一貫してハンセン病の医療を担当してきました。

かつては800名以上の方が入所、療養生活を送られておりましたが、現在松丘保養園で療養生活を送られている入所者は53名まで減少し、平均年齢は88.4歳と高齢化しております。近年、日本でハンセン病を発症する患者さんは年に1-2人くらいで推移しており、松丘保養園では治療を必要とする新規の入所者は平成以降ではいらっしゃいませんので、入所者の数は毎年減少し続けております。入所者の皆様はかつてハンセン病を理由とした隔離政策のため入所を余儀なくされ、家族や故郷と離別し想像を絶した困難な人生を送られました。治療によりハンセン病が治癒された後も「らい予防法」の下、様々の要因で社会復帰できず園に留まり、今日までの平均在園期間は60年を超えております。入所者の出身地は北東北3県と北海道を中心に11都道府県に及び、それぞれに周囲の方からの偏見や差別、劣悪な生活環境など筆舌に尽くしがたい経験をお持ちです。

現在入所の皆様はハンセン病についてはすでに治癒されております。しかし、殆どの入所者はハンセン病後遺障害である末梢神経障害による手足の障害、視覚障害などに加え、加齢による全身的合併症を抱えて療養生活をおくられております。歴史の語り部である入所者の皆様との交流を通じてその苦難の歴史に触れるとともに、ハンセン病にかかわる諸問題についてご理解をいただければと存じます。

住所 〒038-0003
青森県青森市大字石江字平山19番地
TEL 017-788-0145
FAX 017-788-0148
E-mail shomuka-shomuhan@mhlw.go.jp

園内地図



グランド

公務員宿舎 公務員宿舎 公務員宿舎 公務員宿舎

公務員宿舎 公務員宿舎

公務員宿舎

公務員宿舎

16 保育所

公務員宿舎

作業棟

車庫棟

20 旧看護学校

4 三宮公園

7 遊歩道

旧給食棟

受電棟

ゲートボール場

ゲートボール場

20 池

屋内訓練棟

御下賜第二楓公園

18

汽缶棟

洗濯棟

職員更衣棟

管理棟

看護更衣棟

13 敬仰坤徳之碑

9 弔霊碑

11 貞明皇后御歌碑

6 弥仏神社

14 千秋亭

3 納骨堂

21 御恵の森記念碑

23 楓林寺

8 地藏菩薩

24 ミカエル教会

25 聖生会

面会・集会所

26 カトリック教会

天理教

牡丹

桔梗

白鳥

千鳥

鷗

初雁

病理標本・子供達の慰霊碑

1 中條資俊先生之像

病棟

西公衆トイレ

千歳

第1センター

長生

高砂

美好園

寿

あたらぎ

あおぎり

あじさい

白鳥

千鳥

鷗

初雁

中央通り渡り廊下

中央通り渡り廊下

5 中央センター

給食棟

文化センター

第2センター

冷月苑

19

沼(青森市所管)

沼(青森市所管)

12 松丘慰霊の塔

1

中條資俊先生の像



中條資俊先生は、明治42年北部保養院（現松丘保養園）創設当初から昭和22年3月に在職中に亡くなるまで38年間、初代の「医師」園長として、松丘保養園のために尽くされ、その礎を築かれました。

2

慰霊碑



長きにわたって供養されることなく放置されてきた胎児と病理標本の慰霊碑は、同時に、断種、墮胎、そして死後の解剖を強制されてきた松丘保養園入園者の無念の思いを鎮魂する慰霊碑です。平成19年3月落成。

3

納骨堂



平成2年7月に落成した3代目の納骨堂。保養園創立以来111年間に亡くなられた入園者、未感染児童、胎児の方々に中條資俊先生のご遺骨を合わせた1156柱が安置されています。

4

三宮公園



昭和16年7月16日に貞明皇后陛下が「かりん」を昭和24年5月24日に高松宮殿下が「とど松」を、昭和26年1月26日に三笠宮殿下が「ヒマラヤ杉」を植樹された記念の公園です。

5

中央センター



中央センターは平成21年5月に完成し、1階と2階合わせて35名の入園者が生活しています。2階フロアには治療棟という総合診療科、内科、外科、歯科、耳鼻科、眼科等の診療科と検査室や採血室等がまとまっています。

6

彌廣神社



昭和13年に当時の北部保養院長の中條資俊先生により建立されたが戦後、神道指令により解体。昭和44年遷御された伊勢神宮の齋土橋姫神社の御用材をいただき、全国敬神婦人会により昭和45年11月に再建されました。

7

遊歩道



松丘保養園の周囲を囲む土塁は隔離の象徴的な存在でした。共存共生の時代に地域に開かれた保養園の在り方を模索する中で、入園者と地域住民が共に歩ける遊歩道の計画が生まれ平成28年12月末に完成。土塁の一部を遺構として残しました。

8

地蔵菩薩



大地蔵は昭和9年頃当時の入園者の尽力により建てられました。小地蔵は平成13年5月1日に入園者が寄付し、見道寺にお願いして供養していただきました。衣装や花、屋根のペンキ塗りは入園者自ら行っております。

9

弔霊碑



杉山衛生局長巡視の折、北部保養院の病死者を悼み送られた寄付を元に大正3年9月10日北部保養院慰籍会が建立。

13

敬仰坤徳けいぎょうこんとく

昭和7年11月10日皇太后陛下の御歌に感泣せる患者一同は、その宏大無辺な御仁慈を永久に偲びまつるため、患者親睦会に於いて院西方松丘公園内に清浦圭吾伯爵揮毫にかかる「敬仰坤徳」碑を建立しました。

10

松丘会館



昭和53年2月20日落成(三代目)
二代目会館は昭和52年2月に豪雪により倒壊。

14

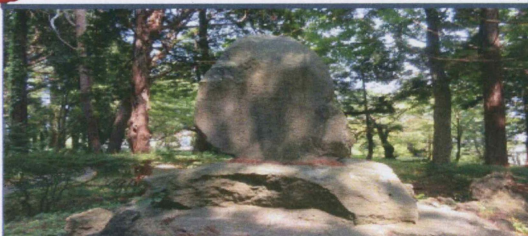
千秋亭



昭和30年頃秋田県から秋田県人会に慰問金をいただき建立されました。当時の秋田県知事により「千秋亭」と命名されました。

11

皇太后陛下 御歌碑



「徒然の 友となりても 慰めよ ゆくこと難き 我にかわりて」昭和7年11月10日に貞明皇太后より下賜された御歌を記念して、昭和9年6月25日に北部保養院患者慰籍会により建立されました。

15

社会交流会館



ハンセン病の啓発・教育のために資料の保存・展示と入所者を中心とした交流の促進を目的としています。八甲田山を望みながら入所者のみなさんを中心として、地域の方々との豊かな交流が自然に広がるよう、平成30年4月26日開館しました。

12

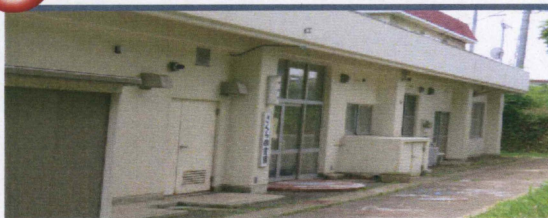
松丘慰霊の塔



旧火葬場跡
昭和59年入園者親睦会建立
園内での火葬は昭和38年まで行われていました。

16

さくら保育園



さくら保育園は昭和58年4月1日から職員の子供を対象として開園しましたが、現在は地域の子供達も入園しています。一般寮入園者の畑に枝豆を植えたり納涼祭等、松丘保養園の行事に参加し、入園者との交流を行っています。

17

第一楓公園



昭和10年貞明皇后様より拝領した楓の苗木を植え付け御下賜第一公園となりました。昭和40年代頃まで、園の行事は楓公園で行われていました。仮装大会、運動会、観桜会など、入園者にとっては思い出深い公園です。

21

御恵の森記念碑



昭和10年に貞明皇后より楓の実生150本を下賜されたため、昭憲皇后の賜金のご沙汰を讃え「御恵乃森」の記念碑を昭和11年6月25日に建立しました。

18

第二楓公園



第一楓公園に対し、園の反対側(東側)に第二楓公園が作られました。

22

獣魂碑



自治会の財源としていた家畜事業。養牛・養鶏は早期に廃止され、最後に昭和49年養豚が廃止された。長年に亘って自治会の財政を支えてくれたことに対する感謝の意味を含め、平成6年6月27日に親睦会により建立。

19

冷月苑



平成7年造成。平成6年に亡くなった北柳吟社の小山冷月氏の寄付金により整備された庭園。小山氏は盆栽でも名を馳せた人で、その思いを承継し多種多様な草木が植えられ入園者の目を楽しませています。

23

楓林寺



白道会、妙唱会の30名以上の会員に使用されており、建物は昭和13年に再建されています。

20

ひばりが池



平成10年、旧小倉沼とひばり寮跡に造成されました。初夏の頃、ひょうたん型の池は睡蓮に覆われ、菖蒲が咲き競う。木造の橋から眺める教会群は絶景です。

24

ミカエル教会



昭和3年・11年の火災による焼失後、昭和14年7月23日に現在位置に建設されました。月1回行われている礼拝の出席者は外部からの参加者も含め平均して約10名です。礼拝に出席出来ない教会員には毎回牧師が訪問して陪餐式を行っています。

25

聖生会



昭和21年12月22日、3教会(聖公会・聖城団・カトリック)が合同して「聖生会」と命名して教会を再建しました。全国の療養所教会の中で最も北にあります。現在会員数は4名。月2回(日曜)の礼拝は青森市内の日本キリスト教団の3教会からの応援で守られています。ホーリネス系の伝統を受け継ぐ教会です。

26

カトリック教会



昭和26年、今日の基礎となる「松丘カトリック愛徳会」が発足、信者の希望により昭和32年1月7日献堂されました。

27

自治会



大正5年、睦(むつみ)会として発足し、その後1世紀の歴史を刻み現在に至る。入園者による療養生活を自主的に運営しています。

28

盲人会



かつての木造の盲人会館が老朽化したため笹川財団寄贈により昭和55年12月25日鉄筋コンクリート造りの新盲人会館が落成。松丘盲人会は昭和28年10月28日に「杖の友会」として視力障害1・2級の入会を希望された入園者で結成されました。

29

旧准看護婦養成所



松丘保養園附属准看護師養成所は前身の附属看護員養成所を経て昭和27年に開設し平成8年に閉校した。1期生から43期生までの卒業生636名の内、多くの方が保養園に勤務され、ハンセン病の看護と啓蒙に尽くされました。

30

栗の木



平成4年と5年に還暦を迎えられた入園者、前自治会長伊藤文男さんと福島政美さんが「地域の子供達に栗の実を拾って楽しんでもらいたい」との思いから植えられました。

31

桜の植樹



平成27年4月28日、松丘保養園が桜の名所となるよう、入園者さんが近隣の住民の方や保育園の子供達と一緒に桜の植樹を行いました。

32

ゲートボール場



青森市内のゲートボール愛好家と松丘保養園入園者の愛好家たちがゲートボールを通して交流しています。

理念

私達は、入所者一人ひとりが歩んだ道のりと生命の尊さを深く認識し、地域の人々と共に歩む、豊かで心安らかな療養環境の提供に努めています。

基本方針

1. 安心して信頼されるチーム医療を提供します。
2. 入所者の個々に応じた医療・福祉に努めます。
3. 快適な生活環境を提供し、療養生活の充実に努めます。
4. 入所者の社会参加に対する支援に努めます。
5. 入所者の名誉と権利を尊重します。
6. 職員の教育・研修に努めます。

外来診療

診療科目

内科・外科・眼科
耳鼻科・皮膚科・歯科

受付時間

午前8時30分～午前11時00分

※ 完全予約制

診療時間

午前8時30分～午後5時15分

休診日

土曜日・日曜日・祝祭日

年末年始（12/29～1/3）

受付先

017-788-0145（福祉室まで）

入院診療

保険診療5床

当園では、季節や行事に合わせた食事を多数提供しています。また、嚥下機能の低下がある方にも美味しく食事を摂っていただけるよう、嚥下困難食など補助食品も豊富に取り揃えています。

看護師・介護員の他に、ソーシャルワーカー・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などあらゆる職種が連携し、入院生活をサポートします。また、近隣の病院とのネットワークを持っており最善の治療を受けることができます。

保養園の概要

診療科

211床（内一般診療病床5床）

敷地面積

内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻科、歯科

建物面積

237,966㎡

（建面積）

24,805㎡

（延面積）

30,482㎡

【交通機関】

1. JR新青森駅南口から1.5km。徒歩約15分。
タクシーで約3分。
2. 青森空港から約14km、タクシーで約20分。
3. 東北自動車道青森ICから約3km、約6分。
4. 新青森駅南口から西部営業所行きに乗車し、松丘保養園前下車、約10分。

